

## 奥武蔵東吾野 天覚山ボルダー

令和6年4月3日 RCT/K

3月に入り秩父方面にに登山に出かけるが、残雪が多く登れず、戻って東吾野の天覚山に登ることにした。最も近いコースの沢沿いのコースを選択するが、その途中思いがけなく登山道脇にちょっと遊べそうなボルダーを幾つか発見する。

その後暫くして時間のある時に、掃除とトライを兼ねて登りに行ってみる。

ボルダーは4個ほどあり、岩質はチャート、高さ1.5mから3m程で下地はそこそこ安定している。

課題は易しいものが殆んどであるが、ハングからカチフェイスなど様々で変化があり、また明るく乾きが良くアプローチが近いので時間のない時などに利用するには便利である。

これらのボルダーは人気の天覚山の皆が通る登山道脇なので、もしかしたら以前登られているかもしれないことを明記しておきたい。

アクセスはR299の東吾野から南に飯能アルプスの東峠を越える林道に入り登って行く。天覚山登山口(カーギルの森)を過ぎ、さらにカーブの多い林道を登って行くと、右下に長尾坂配水場の建物が見えるのでその上の大きなヘアピンカーブ横のスペースに駐車する。その場所は下から登ってくる登山道が横にあり、そこから入ればボルダーへは至近距離(100m程)である。



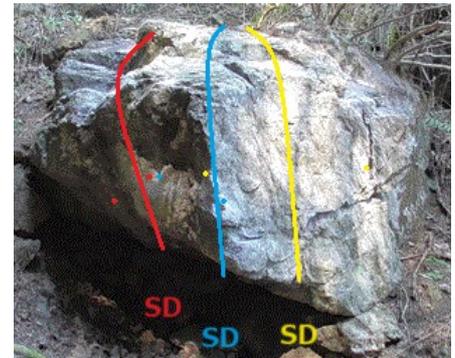
### 《課題紹介》

#### ●A 岩

B岩の少し下の沢の中にある小さな岩で登山道からは存在自体が分かりにくい。

課題3本とも、両手で引き付けたら岩上のホールドにデッドする。

黄色ラインのスタート右手は右上のクラックを使う。



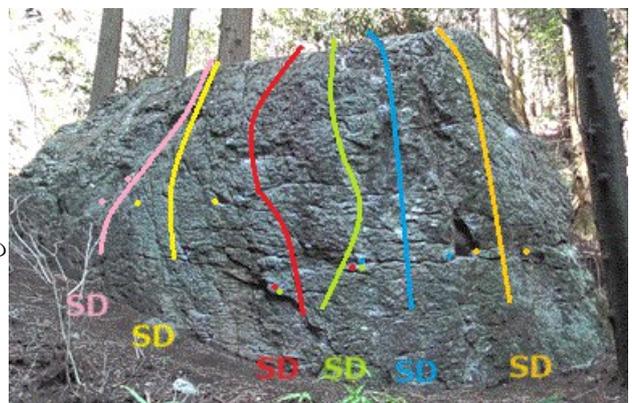
#### ●B 岩

登山道を登って行って最初に目に入る2m強の岩。被りはないが、細かなカチホールドを使っているようなラインが取れるので面白い。

チョーク跡はなかったが、フェイスの真ん中のホールドは磨かれたような感じが意外ときれいであったことから、既にトライされたことのある岩かもしれない。右の穴は既に取れて落ちていた浮石の跡である。ハイカーが引っ張って落ちたものだろうか？

赤ラインは、アンダーからスタートし、中間のカチホールドを右手でとる。上部は左右のガバに出ず岩の抜け口にある右上の斜めのホールドに跳びつく。

黄緑ラインは、赤ラインと同じスタートから青ライン側のサイドプル気味のカチホールドをとる。赤ラインのカチホールドを左手でとり、足を上げたら右手で上のガバをとる。



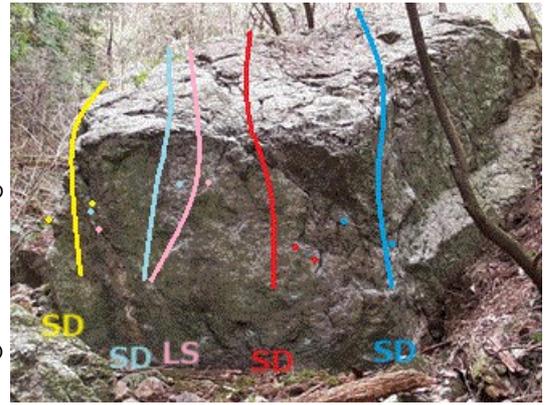
## ●C岩

沢の中にある3m程の岩。下が前傾壁、上がスラブとなっている。夏季など雨で増水すると下が川になる可能性あり。

各課題はスタートホールドで引き付けリップにデッドするが、取ってしまえば上のスラブに良いホールドがある。

水色ラインは、左手のスタートは穴状のクラック、右手は甘い小カチ。

ピンクラインは、左手のスタートホールドは穴の少し下のホールドをピンチ気味、右手は掛かりの良い方の右の小カチ。SDでは小カチが届かず、腰を下げた状態からスタートする。



## ●D岩

このエリアの一番上の下部がハングになっている2m程の岩でいろいろラインが取れるので面白い。

黄色ラインは、水色ラインと同じスタートホールドから各ラインのスタートホールドを繋ぐようにして、オレンジラインのスタートホールドまで行ったら最後はオレンジラインを登る。

